

新年を迎えて

公益社団法人 日本建築積算協会北海道支部
支部長 富田克己

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新たな気持ちで輝かしい年を迎えられたことと存じます。

昨年は、全国各地で自然災害が頻発し、多くの人命が失われるとともに、未だに避難生活を送られている方々も多く居られます。9月には本道においても胆振東部地震が発生し、加えて北海道全域の停電にも見舞われるなど、改めて災害への備えの必要性を痛感したところです。

さて、日本経済回復の堅調さは継続基調にある中、本道の特に都市部を中心に、再開発事業や老朽建替え、インバウンド需要への対応など、建築需要の好調さが引き続き見込まれており、今後も人手不足や資材調達遅延などの状況が続くものと思われます。

このような中、当支部では、昨年、これまでに加えていくつかの取組みを始めることができました。これも、ひとえに会員の皆様のご理解と役員の皆様の奮闘の賜物と心より感謝申し上げる次第です。

積算資格者のメリット向上に向けては、昨年に引き続き道内市部への資格者活用の要請、企業や建築積算士補認定校の訪問、発信力向上に向けたホームページの刷新、旭川を対象とした初めての地域現場見学会の開催、「積女アッサル北海道」茶話会等の継続開催、会員の勧誘促進活動や交流の場づくりの拡大など、会員や資格者の皆様のための取組みを展開することができました。

また、昨今の建設業界の人材不足を反映し、特に若手技術者を対象とした講習会等の開催など、将来の人材を育成する取組みもスタートいたしました。

当支部としましては、今後とも各方面に対して資格の活用・取得促進の要請をして参りますとともに、変化の大きい社会情勢に対応可能な個々人の能力の向上・研鑽が図られますよう取組みを進めて参る所存です。

会員の皆様には、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。